

「情報公開文書」

研究課題名：死後遺伝学的検査に関するハブセンター型提供モデルと実装ストラテジの構築：段階的 co-design アプローチによる提供モデル開発研究
倫理審査担当：国際医療福祉大学東京赤坂倫理審査委員会
承認日：2026年2月27日 承認番号：25-TA-265
研究期間：2026年2月27日～西暦2031年3月31日

1. 研究の対象

2026年3月8日、9日に本学にて実施される死後遺伝学的検査に関する co-design ワークショップに参加された方。

2. 研究目的・方法

亡くなった後の死因究明と予防を目的に行われる遺伝学的検査（死後遺伝学的検査）は、深い悲嘆の中にあるご遺族が意思決定の対象となり、故人の遺伝情報の取り扱いに関する複雑な倫理的・法的・社会的諸課題を孕んでいます。死後遺伝学的検査を等しく必要な方に届けるためにわが国でどのように運用していくべきかということについては議論の最中であり、当事者や一般の方をはじめとし関連する医療者や専門職者らとの対話による制度設計が重要です。

ワークショップでは、段階的に意見を集約し、その過程の透明性を担保するために質問調査を併せて用いることで、プロセスとして学術的に公表することも重要です。

本研究では、我が国において死後遺伝学的検査をどのように提供していくかについてワークショップ形式で議論した内容をとりまとめ、提案することを目的として共創的（co-design）アプローチを用いてプロセスを記述します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、事前にコアメンバーが考案した死後遺伝学的検査のプロセスについてワークショップにて意見を募り、ワークショップ内で議論した内容（主として、付箋に記載して貼り付けた意見やファシリテーターのメモ、事後のアンケート）をもとに、翌日のコアメンバー会議でとりまとめます。

議論で出た意見や事後アンケートの結果はだれが発言したかがわからない形で収集し、公表します。匿名で意見を募るため、ワークショップ終了後に参加者の方が述べた意見を撤回することはできませんのであらかじめご了承ください。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

本研究に関するお問い合わせ（本研究への協力を同意されない場合を含む）連絡先：

住所 東京都港区赤坂 4-1-26

電話 03-5574-3900

担当者の所属 国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科遺伝カウンセリング分野

氏名 福嶋 佳菜子（研究責任者）